

第32回東海高等学校バスケットボール新人大会

決勝リーグ

試合日 2019年2月9日
 会場 このはなアリーナ
 コート Cコート
 開始時間 16:00

TEAM A		TEAM B
四日市工業 (三重)	68	83 飛龍 (静岡)
	15 - 15 9 - 28 19 - 25 25 - 15 OT	

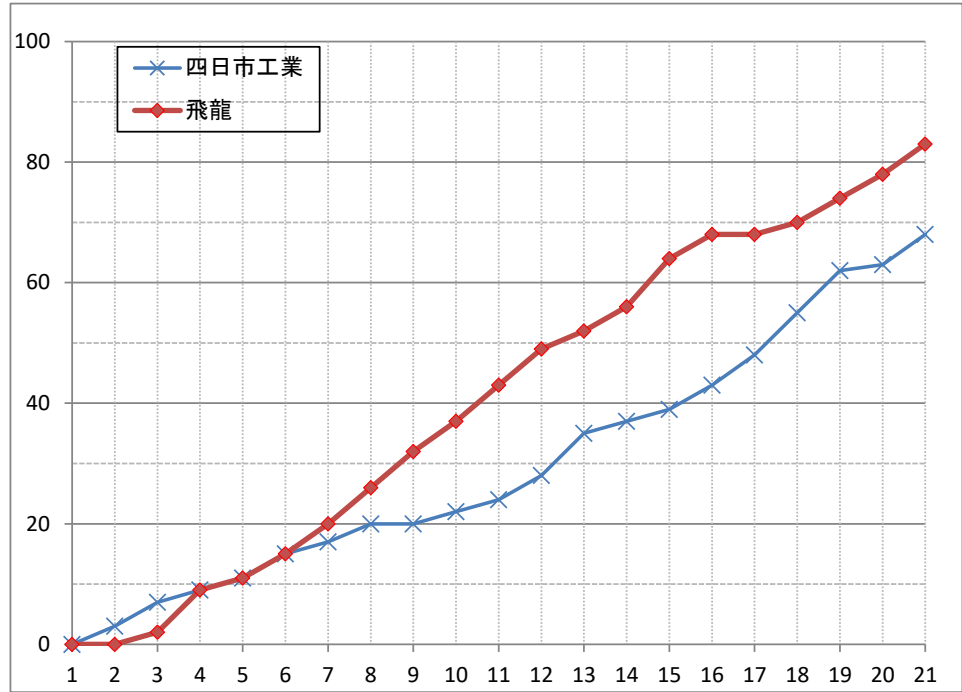
TEAM A 四日市工業 (三重)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	中川 貴晶	7	0	3	1	2
5		小野 元暉	4	0	2	0	1
6	*	野田 巧真	12	1	3	3	4
7	DNP	角前 太征	0	0	0	0	0
8		春日部 昇大	0	0	0	0	4
9	*	藤本 拓実	19	1	5	6	4
10	*	梅田 文瑠	17	3	4	0	3
11	*	水谷 航	5	0	2	1	5
12	DNP	佐野 龍雅	0	0	0	0	0
13		東 永翼	2	0	1	0	1
14	DNP	野浪 明人	0	0	0	0	0
15		山田 達郎	2	0	1	0	0
16	DNP	山下 要	0	0	0	0	0
17	DNP	中村 栄真	0	0	0	0	0
18	DNP	水本 宗磨	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			68	5	21	11	24

TEAM B 飛龍 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		高須 崇介	0	0	0	0	1
5	*	色山 輝	3	1	0	0	1
6	DNP	松井 翔	0	0	0	0	0
7		関口 就斗	8	0	4	0	2
8	*	保坂 晃毅	9	0	3	3	3
9	*	鳥見 勇敬	9	0	4	1	5
10		櫻井 棕介	0	0	0	0	0
11		佐藤 彩人	5	0	1	3	3
12		池田 涼	0	0	0	0	0
13	*	遠藤 歩夢	8	0	4	0	2
14		三橋 翔	6	0	3	0	0
15	*	リュウ ヤハオ	21	0	10	1	2
16		古大内 雄梨	14	1	3	5	1
17		本橋 献人	0	0	0	0	0
18		木場 稜斗	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			83	2	32	13	20

【得点経過】



【戦評】

1PD 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。堅いディフェンスで互いに先手を取れない。四日市工⑥野田のスリーポイントで先制すると、足を使ったカッティングプレーで加点する。対する飛龍は⑮リュウが気を吐きペイント内で加点する。両者ゆずらない戦いが続くが、四日市工は残り5分でメンバー4人を交代。流れをつかもうとするも、飛龍⑮リュウのブロック、リバウンドから加点し、15-15で第1ピリオド終了。
 2PD 飛龍は⑮古大内のスリーポイント、⑦関口のスティールからの速攻で点差をつけ、流れをつかむ。四日市工は残り5分でメンバーを交代し機動力を高める。速いパス回しのカッティングを続けるが、得点につなげられない。堅いディフェンスで速攻を連発した飛龍が点差を広げ、前半を43-24で終了した。
 3PD 両チームスターティングメンバーに戻し後半をスタートする。飛龍は⑬遠藤が外角からシュートを決め、⑨鳥見がドライブを決め、後半も流れをゆずらない。対する四日市工は⑨藤本がタフショットを決め、⑩梅田がアウトサイドシュートを決めるなど応戦するも、なかなか点差が縮まらない。68-43の飛龍リードで第3ピリオド終了。
 4PD 四日市工は⑨藤本のスリーポイントで加点すると徐々にペースをつかみにくる。④中川のスティールからの速攻で加点すると残り5分でオールコートマンツーマンで飛龍にプレッシャーをかける。しかし、ボールを奪いたい四日市工に対し、上手にボールを運ぶ飛龍という展開が続き、83-68で飛龍が勝利。準決勝にコマを進めた。

戦評(文責) 仲野 克俊(裾野高校) 記入者 縣英 美里(静岡高校)